

あおぞらショートテニス大会 競技規則

1. 試合の勝敗

11点先取とし、10:10からでもデュースはなく11点目を先に取ったチームの勝ちとなる。

2. サービス・コートの選択

対戦するプレイヤーはトス(ジャンケン)により勝った方がサービスコートどちらかの選択をする。負けた方は残った方を選ぶ。

3. サービス

サービスはベースライン後方且つセンターラインとサイドラインの延長線内で行う。オーバーハンド又はアンダーハンドで行うがバウンドさせてのサービスは不可とする。各ポイントごとのサーブは2回とする。

1回目が入らないと2回目が打てる。

- ・2回目のサービスが相手のサービスエリアに入らなかった場合。
- ・サーブしたボールが天井や審判、得点板等コート外の物に当たった場合。
- ・打球時にラインを踏んだり、踏み越した場合(フットフォルト)

又、次のような場合はレット(やり直し)となりサービスのやり直しとなる。

- ・ネットに触れたボールが相手サービスエリアに入った場合。
- ・サービスがネットに触れた後レシーバーに当たった場合。
- ・主審の合図前にサービスを行った場合。
- ・相手が構えてないのにサービスを行った場合。

4. レシーブ

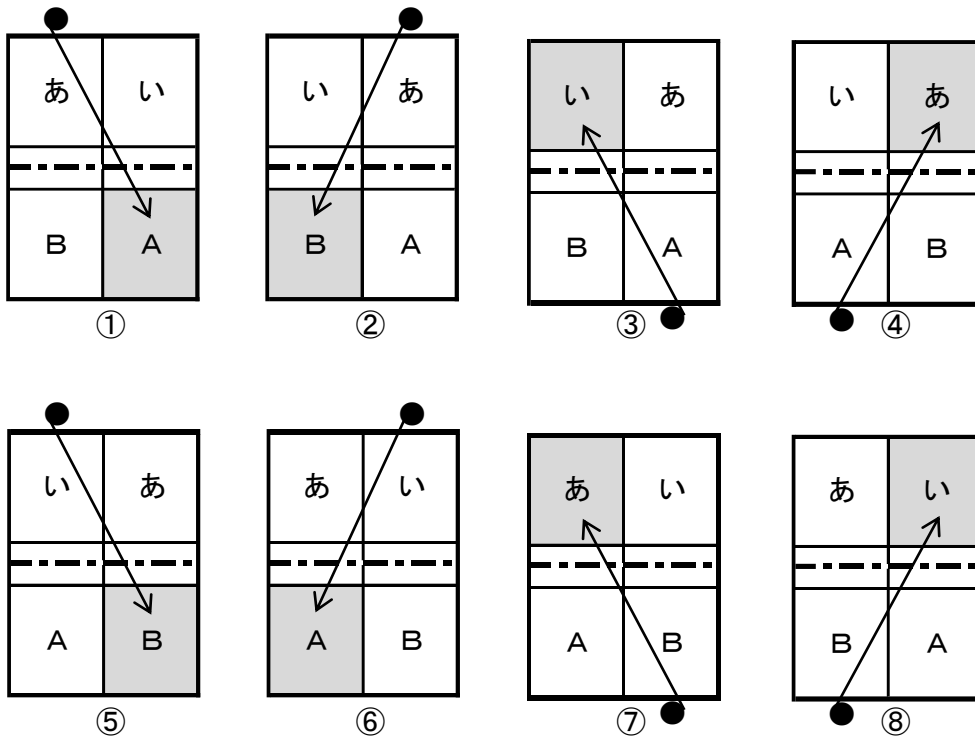
レシーバーはサーブをワンバウンドした後で、かつツーバウンドする前に打たなければいけない。

5. コートチェンジ

合計得点が、8点・16点になったらコートチェンジを行う。

6. ローテーション

サービスとサービス後のローテーションは次のように行う。



以後このローテーションを繰り返す。

*サーブチェンジ又コートチェンジを間違えた場合、間違いが発見された次のポイントから訂正する。但し、それまでのポイントは有効である。